

第3回 学校運営協議会 議事録

開催日時 令和7年11月15日

開会：午後1時 閉会：午後3時10分

開催場所 静岡県立伊豆総合高等学校土肥分校 体育館及び応接室

出席委員数 4人

永岡 正人（会長・地域住民）

石橋 伸行（保護者代表）

勝呂 拓也（副会長・地域住民）

福室 元輔（学校の運営に資する活動を行う者）

1. T O Iステーション（クラス別ステージ発表）の見学及び審査

審査の結果、最優秀賞は3年生に贈られ、1年生には「一致団結賞」、2年生には「パフォーマンス賞」が贈られた。

2. 総合教育センター長期研修員 山本教諭による取り組みの報告

長期研修員として山本教諭が取り組んでいる、キャリア教育の実践について、学校運営協議会で報告を行った。本研究においては、特に生徒が自身の活動を記録し、自己理解・協働する力・自己有用感という三つの力を育むためのツールである「キャリア・パスポート」の活用に焦点を当てている。生徒の記述やアンケート結果からは、「誰かの役に立った」という実感が自信につながり、他者への協力的な行動が増加するなど、肯定的な変化が見られた。今後は、校内活動だけでなく、地域社会との連携を深めることを目標とし、生徒一人ひとりが「自分も社会で役に立てる」という自信を持って生きる力を育むことを目指している。

3. 協議および意見交換

学校祭（輝潮祭文化の部）の様子について

- （永岡委員）歌や演奏の出し物から、若い人がそれぞれの楽しみ方をしている様子が見受けられ、非常に微笑ましく感じた。聞いている生徒たちも非常にノッていた。
 - （石橋委員）3学年通して、皆楽しそうに活動していたのが印象的であった。つまらなそうにしている生徒がおらず、非常に良い。出し物としては「オチ」がないのが物足りなかつたという意見もあったが、それを差し引いても楽しそうにやっている点、特に自己肯定感がしっかりと育っている様子が評価された。
 - （勝呂委員）舞台で堂々と練習の成果を発揮し、楽しそうに頑張る生徒たちの姿を見て安心した。
 - （福室委員）舞台で演技している生徒を見ている生徒たちの姿が非常に良く、先生方に言われたわけではなく自然に真剣に見ていてることがとても嬉しかった。
- 保護者の方が多く、会場は満席状態であり、車がグラウンドまでいっぱいになるほど

盛況であった。生徒たちが保護者のそばに進んで行き、積極的に学校のことを話している姿が見受けられ、家庭でも学校のことが話されているのだろうと感じた。

ここ数年で、生徒の聞く態度・見る態度が最も良かった。20年近く文化祭を見ているが、今年の生徒は素晴らしかったので、生徒たちに自信を持つように褒めてほしい。

土肥分校の生徒は素晴らしく、どこに出席しても恥ずかしくないが、社会に出て生活する時間は高校生活よりもずっと長いため、社交性（大人や子ども、社会で色々な人と接する力）を育ててほしい。

地域との連携について

- ・（勝呂委員）地域社会との接点は重要であり、委員側でも高校生に声をかけ、キャンドルイベントやキャンプファイア、そして11月22日の子どものお菓子を配るイベントに参加してもらい、年下の子たちとの交流や、地域の人の動きや考え方を吸収してほしいと考えている。

山本教諭による報告について

- ・（石橋委員）資料にある「3年生の振り返り」は具体的にどのような機会で行われたのか。

（山本教諭）この振り返りは7月末に実施され、ホームルーム活動、部活動、委員会活動、学校行事、学業の5つの場面で生徒自身が「できしたこと」を記入し、それに基づいて自分の得意なことや成長したことについて書かせたものである。

- ・（所長）卒業生と会った中で、進路指導面での難しい点や残念だったことは。

（山本教諭）3月に卒業したばかりの生徒の中には、専門学校を退学したり、仕事を退職したりした者もいる。退職の主な原因として、「職場での人間関係がうまくいかない」という話が多かった（特に複数人ではなく、特定の一人との関係において）。職業に対する興味が薄いと、困難を我慢することが難しくなるのではないか。仕事への思いが強ければ、叱責を重く受け止めすぎたりしないはずである。

「入ってみないと分からない」状況には援助が難しいが、困った時の対処法や、本当に自分がやりたい職業なのかを突き詰めるという点において、高校段階での指導が不十分であったと反省している。今後の指導においては、自己理解や会社に対する理解を、社会情勢を踏まえ、より現実的かつシビアな視点で行う必要がある。

（福室委員）生徒たちが山本先生のことを知っており、話している姿が多く見られ、生徒にとって安心感があつただろう。教員側も、生徒のことを理解し、大事なことを話してもらうために、積極的にコミュニケーションを取る姿勢が重要である。

4. 生徒の状況について

副校長より、生徒の在籍状況について報告があった。

- ・在籍生徒数は年度当初と変わりなく、生徒の状況に移動はなかった。

5. 学校行事等について

今後の主な行事について説明があった。

・土肥分校フォトランナー（新規実施）：11月27日（木）に実施予定。

今年度からマラソン大会に代わって新規実施される。生徒があらかじめ定めたチェックポイントを計画的に巡回し、提示された題に沿った写真を撮影する。土肥地区の名所や津波タワーなどを巡って歩き、撮影した写真はコンテストで競われる。

・課題研究（商業）サイクリングイベント：12月23日（火）・24日（水）に実施予定。

地域創生を目指すスルガ銀行の協力により、生徒が企画するサイクリングイベントを実施する。今回は、企画を検証するため一般参加は行わず、生徒が実際に体験する。土肥を出発し、中伊豆を経て戸田へ向かう一泊二日のルートをたどる。

サイクリングに必要な栄養を補給するための「おむすび」のメニュー開発を、生徒が「うらら修善寺」の協力を得て行う予定である。この企画発表会は10月2日に行われ、新聞報道もされた（令和7年10月3日、10月6日）。

・始業式・百人一首大会：1月6日（火）。小中一貫校と合同で実施される。

・本校分校合同学習発表会：2月3日（火）に伊豆総合本校にて行われる。

6. 生徒の活動について

直近の生徒の校外活動や広報活動について報告があった。

・10月18日（土）eスポーツ部がNASEF JAPAN 全国eスポーツ選手権に3名出場した。

・10月19日（日）駿豆学園 ふれあいフェスティバルに生徒11名が参加した。

・11月8日・9日には伊豆市芸術祭 展示の部に書道部、eスポーツ部生徒が参加した。

・「おためし地域留学」（9月13日・14日）について、令和7年9月15日の伊豆日日新聞および静岡新聞に記事が掲載された。

7. 諸連絡

次回の学校運営協議会は最終回。2月17日午後に行われる、生徒の学習発表会に合わせて実施予定。会に先立って、年間の評価をお願いしたい。